

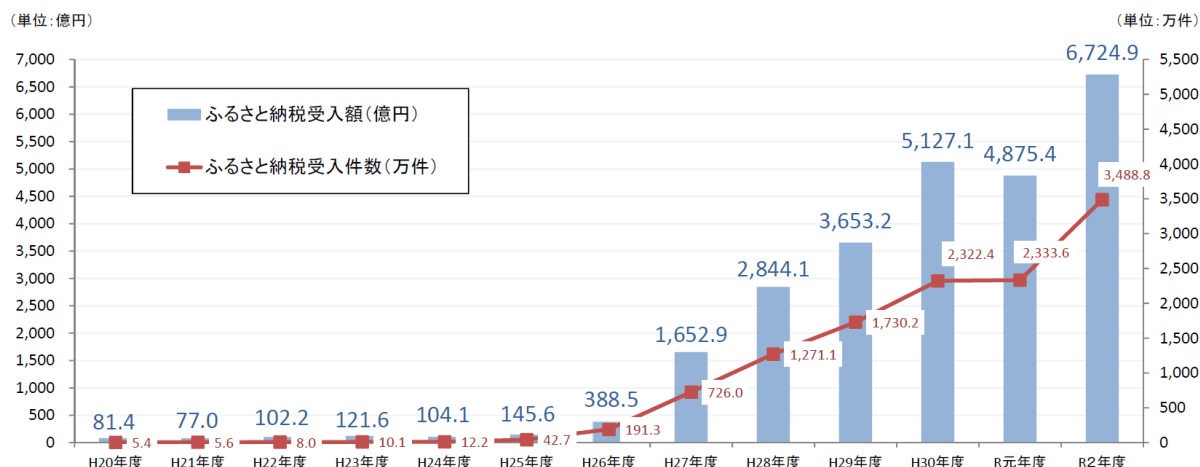
ふるさと納税の現況

総務省は7月30日、ふるさと納税に関する現況調査結果を公表しました。今月のCBCA NEWSで概要をお伝えします。【データ等の出所：総務省自治税務局市町村税課「ふるさと納税に関する現況調査結果（令和3年度実施）」】

ふるさと納税受入額の推移

令和2年度のふるさと納税の受入額は過去最高を更新しました。受入額は約6,725億円（対前年度比：約1.4倍）、受入件数は約3,489万件（同：約1.5倍）です。

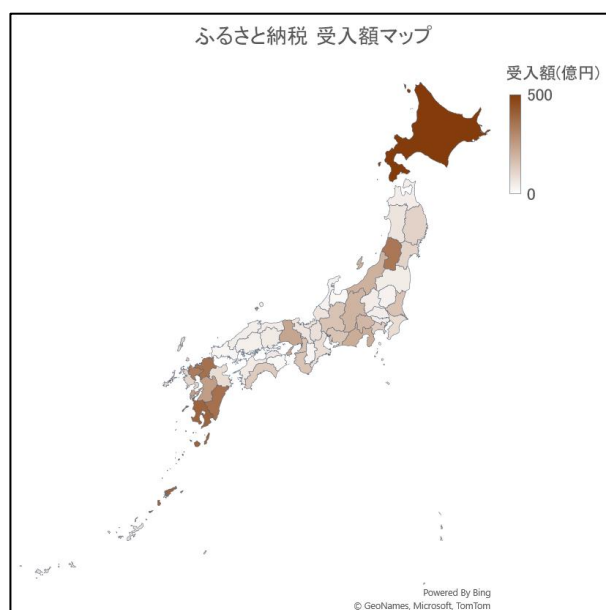
ふるさと納税の見返りとして返礼品を受け取ることで、実質的な減税効果を持つ同制度のメリットが納税者に広く浸透したことに加えて、コロナ禍で自宅に居る時間が多かったことが同制度の積極的な利用に結びついたのでないかと考えられます。



受入額上位の都道府県と市町村

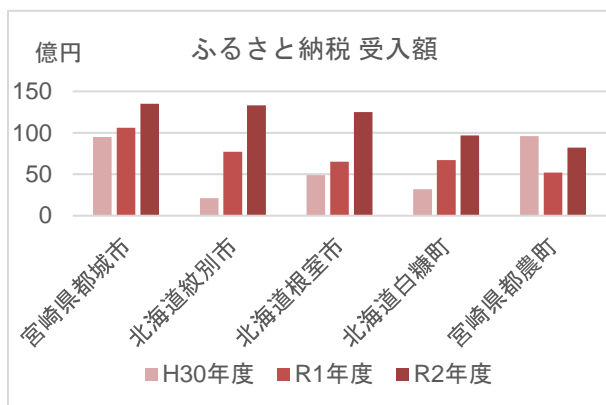
受入額の多い都道府県をみると、北海道（975億円）、鹿児島県（398億円）、宮崎県（365億円）、福岡県（364億円）、山形県（347億円）などとなっています。水産・畜産資源に富み、区域の生産物として人気の返礼品を有する北海道や九州が上位に名を並べます。

受入額上位を市町村別にみると、宮崎県都城市（135億円）、北海道紋別市（133億円）、北海道根室市（125億円）、北海道白糠町（97億円）、宮崎県都農町（82億円）となっており、この5つの市と町がやや抜きん出た実績を挙げています。



ここで、この5つの市と町の人気の返礼品を覗いてみましょう。(ふるさとチョイス調べ)

	人気の返礼品ランキング
宮崎県都城市	豚肉、チキン南蛮、牛肉
北海道紋別市	ホタテ
北海道根室市	いくら、ウニ、ホタテ
北海道白糠町	サーモン、いくら、ホタテ
宮崎県都農町	うなぎ蒲焼、若鳥もも肉



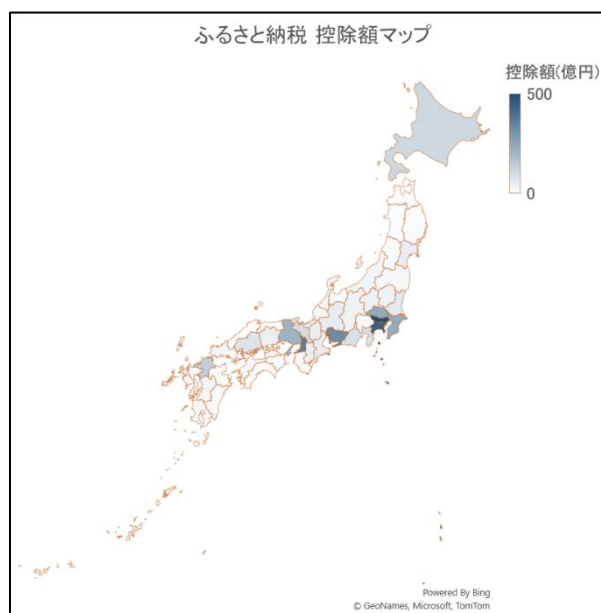
トップの宮崎県都城市は、肉用牛、豚、鶏の合計畜産算出額が日本一を誇る畜産のまちとして知られています。北海道の3市町はいずれも特産水産物に恵まれた地域です。

こうした人気の返礼品を糧に、これらの自治体ではふるさと納税が大きな歳入源となっています。例えば、4位の北海道白糠町は、元々の歳入額が100億円に満たない規模でしたから、ふるさと納税の受入により財政規模が倍増した勘定になります。

✚ 住民税控除額上位の都道府県

今回は、ふるさと納税の利用による住民税控除額(令和3年度課税)の多い都道府県をみてみましょう。東京都(1,079億円)、神奈川県(453億円)、大阪府(361億円)、愛知県(324億円)、埼玉県(239億円)などとなっており、人口の多い首都圏および関西圏、名古屋圏が名を連ねます。

ふるさと納税制度は、大都市から地方への税収の再分配機能を有していますが、受け入れる側の地方はかなり偏りがあると言えるでしょう。一方、控除される側の大都市は、財政規模が大きいので、控除額の大きさは今まで大きな問題とは取りざたされていませんが、コロナ対策により急激な財政悪化に見舞われているため、今後は同制度の在り方に対して徐々に態度を硬化してくることも予想されます。



一般社団法人全国経営診断士協会

〒112-0004

東京都文京区後楽 2-2-17 NBD 三義ビル

TEL : 03-3812-8211 FAX : 03-3812-8213

mail@cbca.jp

http://www.cbca.jp

お問い合わせ先